

JAしまねびより

2019

1

January Vol.34

特集 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 榎(さかき)」 西いわみ地区本部



大鷲谷稲成神社
の賑わい(津和野)
Kamichi

JALまね やすぎ地区本部版



謹賀新年

皆様のご健康と

ご多幸と

心よりお祈り

申し上げます

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

新年あけましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたのも、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の大雪や4月の地震、7月の豪雨や9月から10月の台風被害など、県内でも多くの被害が発生いたしました。被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後も復興に向けたご支援をさせていただきますと思います。

事業運営につきましては、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3カ年営業計画」の最終年度として、前年に引き続き「儲かる農業の実現」を念頭に、自己改革の3本柱である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として、取り組んで参りました。

営農関係では、新設した販売戦略室により、品目横断的に販路開拓に努め、新しい商品企画や輸出や都市圏での販売など、販売を起点としたものづくりを進めました。また、米については生産調整の

見直し初年度を迎えるなかで、事前契約比率の向上を重点的に進め、畜産では県央畜産総合センターや隠岐地区の二つの市場整備など、基盤強化の取り組みも着実に進めているほか、担い手育成や経営指導にも力を入れました。

地域の活性化では、地区本部を核として女性組織、青年組織等と連携を図りながら、食と農を基軸としたくらしの活動に取り組み、各地域でJA・支店まつりや組合員セミナー、農業体験、生活文化教室などを開催し、多くの組合員・地域の皆様に参加していただく機会づくりに努めました。

また一方で、「運営体制改革」「事業改革」についても最重要課題と位置付けて取り組み、昨年11月に開催した臨時総代会では、次の役員改選から理事数を現行の65人から40人とし、このうち常勤理事を33人から17人に、非常勤理事は32人から23人に、監事を9人から6人に削減する役員体制と、運営委員会の再構築と強化を含む新しい運営体制に関する議案をご承認いただきました。今後は車の両輪としての事業改革を早急に進め、一層の統合メリットの発揮、効率化を進め、組合員の皆様への還元に努めて参りたいと考えております。

さて、本年は現在策定を進めている「第2次中期経営計画」と「第2次農業戦略実践3カ年計画」の初年度となりますが、農業やJAを取り巻く環境は日欧EPA、TPP11の発効、米国とのTAGなど大変厳しい中での計画となります。そのうえ、5月には「農協改革集中推進期間」の期限が到来します。政府はJAの自己改革の実施状況等を調査し、その結果次第では信用・共済事業の分離や准組合員の事業利用規制を視野に、更なる農協改革圧力を強める懸念もあり、JAは重要な局面を迎えます。

このように大変厳しい経営環境の中ではありますが、今後も組合員の皆様との話し合いの機会を多く設け、いただいたご意見を事業に活かし、皆様から選ばれて、役職員が一体となり取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員、地域の皆様にとりまして、本年が幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

代表理事組合長 竹下 正幸

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



【津和野町 榊(さかき)】

1月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、神事や神棚に使う榊の栽培に取り組む、商人(あきんど)榊生産組合長の田中幸一さんにお話しをお伺いしてきました。



雨の中、榊が育つ山の中で色々とお話をいただきました。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

榊を栽培するきっかけを教えてください。

昭和48年、20歳の時、荒茶生産の専業農家として経営を引き継ぎました。旧日原町の商人(あきんど)集落は中国山地の山あいであり、ほとんどが森林で平坦な農用地は1パーセント未満と農業が不利な中山間地です。当時から高齢化が進み人口は減少、何とかしなければならぬと何度か集落で話し合いました。地区にたくさんあるものは、広大な里山と高齢者の労働力。掛け算の原理でこのたくさんあるもの同士を掛け合わせることであればより大きなもの、すなわち新たな核となる特産品を創り出すことができます。里山を活用できるものには何があるのか。集落で出した答えは榊でした。榊なら広大な里山を農用地として見立てることができ、稲作のようにコンバインなど機械を乗り回す必要がない。ハサミとカゴのみで高齢者が無理なく作業できる。当時は山に自生する榊を切り取って販売する人はいましたが、計画的に植栽し栽培ものとして生産している人はいませんでした。それならば、一大産地化を目指し農家全員で取り組もうと平成元年に集落の全21世帯(2世帯は非農家)のうち、19戸で「商人榊生産組合」を設立。短期的にはタラの芽などの山菜、長期的には榊をと、平成生まれの特産品を作っていくと動きだしました。第1次に6.8ha、その後2、3次と造成し最終的には8ha弱の面積で約3万本を植栽し生産を開始しました。



商人地区、急峻な中国山地の谷間に里山の暮らしを見せてくれます。

榊の栽培や収穫はどのようにするのですか？

ハシゴを使って収穫する必要があるようになるべく樹高を低く仕立てます。樹齢5年辺りから収穫できるようになり、ハサミを持ち、カゴを背負って山で枝を収穫していきます。持ち戻った枝は葉の汚れなどを洗浄した後、虫食いや葉の形が悪いもの、欠けているものなどを見極め、綺麗な枝ぶりのものだけに振り分けます。大きさは枝ぶりなどで5種類くらいに分け神棚等に立てる

これまでの大変だったことや苦労してきただことありませんか？

最初の数年は在来種の榊を里山に降ろそうとスコップな

前提で高さ30cm、底辺が25cmの2等辺三角形になるように数本を束ねた後、水揚げ・保水処理を行い出荷します。益田市と浜田市のほか、広島市の市場に出荷しています。



より良い商品にという想いが、市場に評価される高い品質を保つ秘訣につながっている。



タイムスリップしたかのような風景も、様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



作業しやすいよう整備された里山に榊が立ち並び。近いからこそ手入れが行き届き、その努力と時間が立派な畑に。

ど持って苗を探して山奥まで取りに行っていました。先端の細かい毛細根まできちんと取らなければならず、重労働かつ効率が悪く「これじゃだめだ」と痛感しました。そこで種苗会社4、5社から数種の苗木を取り寄せ、それぞれの世帯で東西南北や日照時間の違う条件で榊を植えて品種を比較、集落に合った榊を選び植栽をはじめました。先進地で勉強する機会がもてないため、栽培方法から病気や害虫の種類や対策まで試行錯誤を繰り返しながらこれまで行ってきました。幸い、榊はお茶と同じツバキ科の植物だったので親しみが有り、これまでの経験が生かせる時がありました。榊の生産は今年で30年目になりますが、生産者全員の頭の中にあつた知識を体系化した栽培マニュアルは、近年になってようやく新規生産者に渡せるようになりました。大変な作業の1つには、点在する榊の場所まで肥料を持って行き散布するのが労力を要します。

市場での評価はいかがですか？

しっかりと肥培管理しているので葉の色ツヤがよく、加えて日持ちが良いと高く評価をいただいています。お客様の中には水に入れていたら発根したという人がいるほど、鮮度や品質にはこだわっています。近年は外国産の榊が多く出回っており、品質が極めて高い国産の榊を求めて花屋さんをはじめ、全国の市場から訪ねていらっしやいます。生産量に限りがあるため需要に対して供給が追いついていないのが現状です。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

市場からの引き合いはたくさんあるので、生産量をまだまだ拡大しなければならぬと考えています。平成24年には津和野町全域、平成27年に

榊 (さかき) 一口メモ

「木」に「神」と書いて榊(さかき)。神道で古くから関わりがあるとされる常緑樹で、常に生い茂っている木のため「栄木(さかき)」、神と人との境界を示す意味もある「境木(さかいき)」というのが語源とされる。毎月1日と15日に神棚の榊を変える習慣のほか盆や正月、お彼岸等の特需など、1年を通して安定的な需要があることから、集落では年150万円前後の収入が見込める副職として榊の生産を積極的に勧めている。商人地区での榊栽培の最高齢者は88歳と91歳の夫婦がいるほか、近年に参入した20代の生産者が出荷量を増やすなど、個人の状況やライフスタイルに合わせて榊生産を有効に活用するデザインが注目を浴びている。



「凜とした」という表現が正しいかどうかは別として、こんな綺麗で立派な榊を見るのは正直初めてでした。「本物」という言葉がふさわしい。



田中組合長(左)と研修生の中川峰さん(右) 中川さんをはじめとした若手が商人イズムの継承者として榊栽培に取り組みだしている。

農と合わせて副職として榊の栽培を勧めています。私自身は6年前に荒茶の生産を辞め、山菜と榊の生産に切り替えました。限界集落といわれた商人地区は昔からチャレンジ精神が旺盛な土地柄です。変わりゆく時代に柔軟に対応し、地域の農業が途絶えないよう努力を続けています。

チャレンジ「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAは地域の活性化に取り組んでいます！

JAは農業だけではなく、JAならではの取り組みで「地域の活性化」に貢献しています。

〔食農教育〕▶▶▶▶

代表的なものに「食農教育」があります。子どもたちはもちろん大人にも、「食べる」という行為そのものだけでなく、その背景にある「いのち」や農業の果たす役割をお伝えすることに大きな特徴があります。農業体験学習などを通じて、土に触れる楽しさや収穫の喜びを味わうだけでなく、農家の苦勞を知り、自分の住む地域の魅力や地産地消の意味を学ぶ絶好の機会になっています。



ホームページで TVCM
「愛菜カレー」編を公開中！



◀◀◀◀〔JA女性部活動〕

女性部の活動も、食と農を通じて地域を元気にする取り組みにつながっています。各地域の伝統料理を学び伝える講座や、健康教室、趣味のサークルなど幅広く活動しています。また、一般教養や料理講座などを年間のカリキュラムで学ぶ「JA女子大学」も人気で、若い女性を中心に生き生きと活動しています。

元氣な女性たちが、多方面の活動に加わることで地域に活力が生まれ、活性化につながっています。

理事会情報 (11月29日開催)



(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

- ①平成30年度しまね農業生き生きプランの承認について
- ②第2次農業戦略実践3カ年営農計画(2019~2021年)の策定について
- ③信用事業にかかる平成31年度からの事業運営モデルの選択について
- ④平成30年度末決算見込み(1次)について
- ⑤JAしまね中間期ディスクロージャー誌2018の作成について
- ⑥次期中期経営計画(2019~2021年度)策定の進め方について
- ⑦役員選考について
- ⑧年間所定内労働時間の統一について

協議事項

地区本部トピックス

雲南

飯南町無人航空機運営協議会 ドローン免許新たに4人取得し体制強化

飯石郡飯南町にある同町無人航空機運営協議会は、無人ヘリコプターやドローンを使った水田防除に取り組んでいます。12月10日から14日に行われた免許講習会では、農業用マルチローター（ドローン）の技術認定証を新たに4人が取得し、来シーズンに向けて体制を強化しました。

今年7月に同協議会のメンバーでもある松江市の株式会社SWIFTが、県内初の農林水産航空協会認定の教習所、整備事業所として認定されたことを受け、分校開催として同町で講習会を開きました。

今年は町全体と雲南市の一部、約900㍍で散布。高齢化が進み防除面積が年々増加する中、作業者の負担を軽減するために拡充を図りました。

来年はヘリとドローンの免許取得者16人で作業を進めていく予定です。新たに免許を取得した同町の藤原翔太さん（20）は「地域の皆さんの力になれるよう頑張りたい」と意気込みます。



免許講習会でドローンを操作する藤原さん

くにびき

店舗のイメージや窓口の対応、 職員の身だしなみを競う 美粧化コンクール実施

くにびき地区本部は12月6日、支店・店を巡回し、店舗内外の明るい雰囲気や接遇、職員の身だしなみなどを審査する「店舗美粧化コンクール」を実施しました。

同コンクールは各支店・店の創意工夫で、親しみやすく安心感があり、来店したくなるような明るい店舗作りを目指し開催しています。

当日は、12名のJA職員と4名の女性部の部員が審査員となり、4班に分かれて巡回しました。

審査員は「店周・外観」、「ATMコーナー」、「店内」、「身だしなみ・接遇」について審査し、上位3支店・店を選出。1位にはキャンペーンなどを効果的にPRし、気持ちの良い挨拶をしていた川津支店が選ばれ、法吉支店、宍道支店と続きました。

審査員を勤めた女性部東出雲支部の森口順子支部長は「それぞれの支店・店で工夫がされていた。明るく挨拶をされる支店には、また来店したくなった」と評価しました。



店内をチェックする審査員

隠岐

平成30年度果樹剪定講習会を開催

隠岐地区本部は12月13日（木）に、平成30年度果樹剪定講習会を開催しました。

果樹剪定講習会としては、昨年に引き続き2回目の開催となり、隠岐農産物生産者協議会の会員を中心とした島内の生産者32名が参加しました。

当日は島根県農業技術センターより2名の方に講師として来島いただき、栽培や剪定のポイントなどをわかりやすく説明していただきました。

あいにくの雨の中での開催となりましたが、参加者からは剪定についてはもちろん、普段の管理や実際に被害のあったみかんを例にした病害虫の防除についてなど多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



やすぎ

新たな担い手誕生

やすぎ地区本部は11月21日、やすぎ担い手支援センターで新規就農者実践研修修了式を開催しました。イチゴが特産の安来市で、新たに2人の担い手が誕生しました。式には県や市、指導農業士ら約20人が出席し、研修生2人の修了証書授与と激励を行いました。

研修を修了したのは、大阪府出身の山下勇人さんと神奈川県出身の大森雄介さんで、2人は島根県で農業がしたいと1ターンを選びました。特産であるイチゴを研修品目として、平成28年から市の新規就農研修事業で、指導農業士の池田憲司さんと野島年光さんの下、それぞれ一からイチゴ栽培などを学びました。その後平成29年から今年8月まで、同センターで栽培全般と収穫などの実践研修を3,000時間弱行いました。

同センターは2012年の開設以降、今回の2人を含め11人の修了生を送り出しています。



大森さん（前列中央右）と山下さん（前列中央左）

斐川

組合員学びのひろば 「防災を学ぼう！」

斐川地区本部は12月3日、自然災害などの緊急時に対応できるよう「防災を学ぼう!」と題してセミナーを開催しました。始めにJA職員が、家の光記事からアウトドアコードを使用した「防災プレスレット」を紹介説明し、参加者が作りました。続いて、日本赤十字社島根県支部より2名の指導員を講師に招き、風呂敷で作る「リュックサック」、1枚のタオルケットや毛布を利用した「ガウン」、リラックス効果のある「ホットタオル」の作り方など、災害時に役立つアイデアを教わりました。また、貴重な水を有効利用したお米の非常炊き出し方法なども学び、参加者は質問等を交えながら真剣に取り組んでいました。企画した組織広報課の周藤課長が「日々の備えが大切、今回の研修を万が一のときに活かしていきたい」と総括し、防災意識の高まったセミナーとなりました。



タオルケットを利用して作った「ガウン」

石見銀山

第4回JAしまね石見銀山地区本部 家の光大会

石見銀山地区本部は12月8日、大田市大田町の島根県立男女参画センター「あすてらす」で、第4回JAしまね石見銀山地区本部「家の光大会」を開催しました。

JAしまね石見銀山女性部、JA役職員、一般の家の光愛読者210人が参加し、公演や「みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞作文の発表など数々の催しを楽しみました。

公演では、JAしまね出雲女性部塩冶支部「えんまん座」がユニークな寸劇やダンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

その後は、JAしまね女性部が主催する「みどりをまもる小学生作文コンクール」で島根県知事賞を受賞した大田市立池田小学校6年の藤原大和さんによる作文の朗読や家の光記事活用体験発表、ふじの会の日本舞踊、川合支部のフォークダンスなどのアトラクションが行われました。



ダンスを披露する女性部川合支部

隠岐
どうぜん

来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月14日（金）に毎年恒例になった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者のみなさまからのご要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備しました。グリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。有難うございました。



出雲

タオル1人1枚運動 JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部が、「タオル1人1枚運動」で集めたタオル3,500枚を出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設へ寄贈しました。11月29日には贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長と三原洋子河南地区長が「みどりの郷 湖陵」の吉井忠夫施設長にタオルを手渡しました。

部員から自宅で眠っている未使用のタオルを集めて福祉施設に寄贈する運動で、今年初めて企画したものです。発案した高野部長は「多くの部員が参加しやすく、皆さんの役に立てることはないかと考えた。部員の力が集まれば、1人1枚でもすごい枚数になる」と話しました。

JAしまね出雲地区本部の職員や、同地区本部の関連会社にも呼びかけ、7～9月の3ヶ月間で約4,500枚を収集。そのうち1,000枚は、7月の西日本豪雨で被災したJAしまね島根おち地区本部管内への支援として贈りました。



高野部長（右奥）と三原地区長（右手前）から吉井施設長へ贈呈

西いわみ

購買店舗をリニューアルしました。

西いわみ地区本部は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」をリニューアルし、「YショップJALしまねラーバン」としてオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する(株)エイト(青木正美代表取締役社長)が担い、地域の皆さんの生活を支えます。全農と提携関係にある山崎製パン(株)の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と(株)エイトが掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みとが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

ヤマザキオリジナル商品に加え、地元生鮮食品や農産物加工品、JAブランド品も従来通り取り揃えています。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店。この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。

田村清己本部長は、「食と農の安全を目指し地域に貢献できる店舗となるよう支援したい」とエールを送りました。



島根おおち

地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて取扱う『味の絆』の発送が12月4日より始まりました。

この「味の絆」は、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱うことで、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「^{ゆうか}邑華」など15種の商品を取扱っています。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取り組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月21日(金)の発送をもって終了となりました。



本店

女性大会、家の光大会 大盛況!

JAしまねとJAしまね女性部は12月5日、出雲市のラピタウェディングパレスで「第36回JAしまね女性大会ならびに第20回島根県家の光大会」を開催しました。

やすぎ、石見銀山、いわみ中央の3地区本部の愛読者が発表した家の光記事活用体験発表では、「ふみだせ2歩!」と題し発表した、やすぎ地区本部の梶村純子さんが最優秀賞を受賞しました。介護現場で働く梶村さんは、家の光記事を活用した介護予防に繋がる講座を企画。最初は1人だった参加者も徐々に増え、今では年間教室に発展した様子を発表しました。梶村さんは来年2月に神奈川県横浜市で開催される「第61回全国家の光大会」に県代表として出場します。

各女性部が練習を重ねて発表したグループ活動では、スコップ三味線やベリーダンス、ファッションショーなどを披露。最後には隠岐どうぜん女性部による「キンチャモニャ」を会場全員で踊り、盛況のうちに閉会しました。



最優秀賞を受賞した梶村さん

いわみ中央

産直の加工品を増やそう!

JAしまねいわみ中央地区本部産直振興協議会江津支部は11月21日と28日の両日、会員を対象に加工品に関する研修会を開催しました。この研修は、所得向上に向け季節の農産物に付加価値をつけることを目的に、基本的な加工技術を習得するもので、会員は地区本部管内の産直の加工品をもっと増やしていこうと真剣に研修に参加しました。

前半の研修は漬物・ジャム類の加工の基礎的研修で、講師の生田千枝子アドバイザーより、漬物に関しての保存方法や殺菌方法等の説明を聞きました。併せて浜田保健所職員を講師に、表示研修も行いました。後半は実習として、ピクルスやジャムを作り、ビン詰め殺菌方法などを学びました。

会員は、「漬物を出荷する場合、保健所の許可も必要になってきて、より安全安心を求められてきているが、今日は殺菌方法等具体的な指導を受け勉強になった。質の高い商品を出荷するためにも、このような研修の定期的な開催を望む」と話していました。



新年のご挨拶

島根県農業協同組合 やすぎ地区本部

常務理事本部長 伊藤 精一

皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで、清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平成31年の年頭にあたり、組合員をはじめ地域の皆様から旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

今年の世相を反映する漢字は「災」でした。昨年は、2月の北陸豪雪に始まり、6月には大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道地震や台風21号、24号など自然災害が相次いだ年でした。新しい年を迎え、本年がなんとか明るい年となるよう願っているところです。

昨年の安来地域の農産物の生育状況は、例年になく梅雨明けが早く、8月までは高温で推移しましたが、水稲では9月以降の日照不足により、特にきぬむすめでの登熟低下を招きました。集荷については、出荷契約205千袋に対して187千袋の実績と

なり、集荷率91%、1等米比率については56%となりました。

特産については、莓は寒波の影響により春先の出荷量は減となりましたが、秋出荷からは暖冬傾向により生育は順調で、大玉傾向で推移しております。花卉を含めた他の品目については、夏の猛暑の影響により品質低下と出荷量が減少し、果実においては、小玉傾向が顕著となり販売高は計画を下回りました。

子牛については、市場相場は底堅く出荷頭数も計画を上回りました。酪農については、乳価は安定しておりましたが、厳しい猛暑の影響により乳量減となりました。

また、精米センターにおいては、組合員の皆様方に健康でいてもらいたいという願いのもと、一昨年4月から「金芽米」生産ラインを増設し、昨年の12月には、全国のJAでは2番目となる精米HACCPの認定工場となり、「金芽米」のPRとともに精米の販路拡大に取り組みしました。

今年も、JAの自己改革につきまして山場を迎える年でもあります。

5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限が到来し、今年実施する組合員の皆様方へのアンケート結果により、組合員の事業利用制限のあり方が問われる局面を迎えています。そうした中、皆様の身近で「なくてはならないJA」として選んでいただけるよう、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の三つの柱を掲げて自己改革に取り組んでいきます。

昨今、大きく農業情勢が変革する中で、組合員の皆様から選んでいただけるJAであり続けるよう、「組合員の身になって」、愛され、そして必要とされる組織を今後も目指して参ります。

平成最後となります本年が、組合員・地域の皆様にとって「幸」多き年となりますよう、心からご祈念申し上げます。今年のご挨拶といたします。

謹賀新年

平成31年の年頭にあたり、旧年中に賜ったご支援、ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

島根県農業協同組合 やすぎ地区本部役職員一同

おいしいお米グランプリ表彰

やすぎ地区本部は12月3日、平成30年産米品評会「おいしいお米グランプリ」の表彰式を開催しました。この品評会は生産者が米の食味と品質向上を図り、安全・安心でおいしいお米を消費者へアピールすることを目的に開催しており、今回で13回目となります。

審査内容は形質等を見る1次と食味の2次審査を行い、総合得点で順位を決定します。今回は安来管内各地の集落や集落営農組合からコシヒカリ21点、きぬむすめ13点が出品されました。また、JA職員と生産者で今年の作柄や今後の米作りの課題など様々な意見交換を行いました。

入賞結果は以下の通り。



【コシヒカリの部】

- 第1位 永田集落営農振興組合
- 第2位 新田谷
- 第3位 虫木地区

【きぬむすめの部】

- 第1位 中の輪集落営農組合
- 第2位 農事組合法人かやの郷
- 第3位 中谷中山間地組合

やすぎ直売部会生産者大会開催

やすぎ直売部会は12月9日、夢ランドしらさぎで「やすぎ直売部会生産者大会」を開催しました。生産者や島根県、安来市、JAより約90人が出席し、同部会の目標である販売金額3億5,000万円達成に向け、販売実績経過報告や研修会、意見交換会などを行いました。

昨年までは「出荷反省会」との名称で開催していましたが、今年から年末に向けて一致団結していく意味で「生産者大会」と名称を変更しました。大会では有害鳥獣対策や農薬安全使用に関する研修会を行い、生産者らのスキルアップを図り、消費者へ安心安全で高品質な商品を届けることを確認しました。



地域駅伝でタスキをつなぐ



やすぎ地区本部は11月25日、安来市広瀬町で開催された第67回安来市駅伝競走大会に参加しました。同地区本部は地域を盛り上げるため、地域イベントへの参加を積極的に行っています。

当日は、学校やクラブ、事業所、地区体協などの様々なチームが計15団体参加し、熱戦を繰り広げました。同地区本部の結果は14位でしたが、沿道からの応援を受けながら、ランナーは計13.8km6区間を一生懸命走り抜き、タスキをつなぎゴールしました。

また、地域の皆様と共に汗をかくことで、交流も深めることができました。今後も同地区本部は地域イベントへの参加を通じて、JAの基本目標の1つである「地域の活性化」に努めていきます。



地元農産物で安高選手を激励



やすぎ地区本部は12月17日、全国大会への出場を決めた島根県立安来高等学校の男子バレーボール部とフェンシング部の激励のため、伊藤精一本部長が同校を訪れ、選手にJAしまねの金芽米10kgと目録を手渡しました。

同地区本部は地元高校を応援しており、伊藤本部長は「地元の農産物をしっかり食べていただき、またいろいろな方への感謝の心を忘れず、気持ちで負けないよう頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。男子バレーボール部キャプテンの谷口くんは「今までお世話になった方や応援していただいている地域の方のためにも、力を出しきってまずは1勝、そして2勝3勝と勝ちを重ねていきたいと思います」と意気込みました。

安来の元気な子ども達を紹介します！

未来の主演たち 募★集しています



こちらのコーナーは、安来の元気な子ども達の好きなことや得意なことを紹介するコーナーです。兄弟姉妹そろっての出演も可能です。皆様のお子様を是非紹介して下さい。

お問い合わせは…やすぞ地区本部 各支店 または
総合企画課（電話：0854-22-3751）



家の光料理倶楽部掲示板



12月26日開催

◎講師：栄養士 飯塚生美子 氏

M E N U

- ★生芋のりかけ (100p)
- ★トマト鍋 & ミトマトソブリット (57p)
- ★大根と三枚肉の甘辛炒め煮 (205p)
- ★白菜と鯖水煮缶のチラダ (17p)
- ★クレープのフリールソース (101p)

※料理は家の光1月号を参考にし、先生のオリジナルレシピです。



完成品



アンケートより □□□□□□□□□□□□□□□□

- ◆クレープは作ったことがなく、こんなに簡単にできることがわかったので、家でも作ってみようと思いました。
- ◆シンプルな材料で、素敵な料理ができ最高でした。

お問い合わせ・申込み先
JAしまねやすぞ地区本部 総合企画課（担当：宇山）
電話：0854-22-3751



福祉課だより

永 寿 嘉 福



スキンシップで元気満載！



白菜鍋で忘年会！ 乾杯！



プランターで立派に育った白菜！

本年も、皆様の長寿と幸福をお祈り申し上げます。

デイサービスふれあいは、住み慣れた我が家で生活しながら日帰りでサービスをご利用いただけます。たくさんの言葉掛けに努めながら、四季折々の季節を実感いただけるようドライブや外食の機会も取り入れ、ご利用者の方々の笑顔に出会えるよう努めています。

本年も家庭的な雰囲気大切に、職員も楽しみを見つけながら精一杯努めさせていただきます。変わりませずよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター
TEL：23-8230 FAX：23-8231



女子大レポート

家の光料理 講座

講師

飯塚 生美子 氏



今回の女子大は、家の光料理倶楽部でも講師をされている飯塚生美子氏を招き、料理講座を行いました。メニューは参考教材として家の光12月号を活用し、おせちをテーマとした「芋きんとん」や「干し柿なます」などの講師オリジナルレシピ6品で、学生の皆さんは4班に分かれ、お互いに協力し合いながら楽しく作られました。

学生感想

- ◆お正月のアレンジ料理は、簡単にできておいしく見た目も良いので参考になりました。
- ◆孫達に、ひと味ちがったおせちを作って、食べてもらいたいと思います。



1月の一番商品



《対象期間》平成31年2月末まで

吸収力が違う！
根まで効く！
雨に強い！

ラウンドアップ
マックスロード

吸収力が違う！

より確実に根まで枯らす枯らす力のマックスロード！

ラウンドアップマックスロード
Chlorophyll Fluorescence Imaging

吸収力が違う！

従来のラウンドアップ
Chlorophyll Fluorescence Imaging

吸収された成分が光合成を阻害する程度を表す。
■赤色は大きく阻害、■黄色はやや阻害、
■緑色は阻害がなされていない状態

BAYER

パスタ

「安心」の除草剤として、選ばれ続けて31年。
パスタはこれからも、実りのそばに。

大切な作物のそばで、
これからも、ずっと。

パスタ

大切な作物のそばに、
30年

ラウンドアップ		
規格	超特価(税込)	500ml換算
500ml	1,790円	—
1ℓ	3,310円	1,655円
2ℓ	5,240円	1,310円
5.5ℓ	9,730円	885円
20ℓ	33,640円	841円

パスタ		
規格	超特価(税込)	500ml換算
500ml	2,020円	—
1ℓ	3,670円	1,835円
2.2ℓ	6,720円	1,527円
5ℓ	15,240円	1,524円
10ℓ	27,020円	1,351円

お問い合わせ・お申し込みは、
やすぎ地区本部 各支店経済課 または 資材課(TEL:28-7800)まで

インターネットビジネスの甘い言葉には罠がいっぱい！「在宅ワーク商法」

「ネットで簡単おこづかい」「アンケートに答えるだけで楽々1万円」「高収入内職在宅ワーク」「コピペするだけで月収50万円も可」「ネットビジネス返金保証」こんな誘い文句にはご注意ください。

こうした広告をうのみにして契約した後、「全く収入にならない」「支払った費用の返金を申し出たが断られた」といったトラブルが相次いでいます。最近では、SNS（LINE、フェイスブック、インスタグラム等）での宣伝広告や友達登録がきっかけで、被害に発展するケースも増えています。



◆悪質事業者は誰でも簡単に稼げるかのような表現で勧誘します。そして初期費用は比較的低額でも、最終的には多額の費用を支払わせることを狙っています。

◆ウェブサイトに掲載された体験談も、本当かどうかわかりません。

◆「誰でも簡単に稼げる」といった説明があれば、まずは疑い、契約する前に冷静に考えましょう。

◆少しでも不安がある場合は契約しないでください。不審な点があれば、最寄りの消費生活センター等または警察にご相談ください。



消費者問題出前講座を行っています！



集会や勉強会などに講師を派遣しています。（講師派遣は無料ですが、寸劇などを希望される場合は一部ご負担をお願いします）
詳細はお問い合わせください。
【問合せ先】
0852-22-5103

メール相談受付中

島根県消費者センターでは、メールによる消費生活相談を受け付けています。
詳細はホームページをご覧ください。

島根県消費者センター

検索



ホームページでは、消費生活に関する情報も発信しています。

消費生活に関するご相談は

 島根県消費者センター
(松江市殿町8-3)

0852-32-5916

受付時間／日～金曜日

8:30～17:00

※日曜日は電話相談のみで、

12:00～13:00は休み



消費者ホットライン

泣き寝入りはいやや！

局番なしの

188

お近くの消費生活センター等につながります。

平成30年産米の追加金について

(単位：円/30kg) ※税込

制度	種類	品種	1～3等
J Aしまね米	うるち	コシヒカリ	200
J Aしまね米	うるち	きぬむすめ	200
J Aしまね米	うるち	つや姫ST (特別栽培米)	200
J Aしまね米	うるち	にこまる	200
J Aしまね米	うるち	ハナエチゼン	250
一般米	もち	もち米 (全品種)	100
一般米	醸造用	五百万石	100
一般米	醸造用	佐香錦	300

※上記他、J A米 (うるち) は200円、一般米 (うるち) は50円

平成30年産米追加金の振込を、平成30年12月27日 (木) に左記のとおり実施しました。



読まずには
いられない!
新10連載
スタート!!

家の光

定価(税込) ●普通月号 617円
●付録月号(1・4・5・7・9月号)906円
●家計簿付き12月号 1,008円

をぜひご購入ください!

12月号から誌面を大幅リニューアル!

フリー特集を毎月3本
手芸・健康のミニ特集を毎月掲載!

料理記事は
ぱっと見やすく

年6回別冊付録付き

協同や助け合いのたいせつさを伝える記事、JA自己改革関連記事なども

※タイトル・内容は変更することがあります。

お申し込みはお近くのJAへ | JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

「ガス川柳」入選作品発表!!

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

いつもJ AしまねのLPガスをご利用いただきありがとうございます。
このたびご応募いただいた273作品の中からの最優秀作品を発表します!
たくさんのご応募、ありがとうございました。

テーマは「ガス」!



※この他の入選作品は、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきました。

■ お問い合わせ

J Aしまね 自動車燃料課

☎0853-25-8904

最優秀賞

ガス窯に
グルメの舌が
満足げ

出雲地区本部
朝日山
巍さん

この味は
ガス釜ですと
自慢され

斐川地区本部
「ベンネー」
ガス太郎さん

青い火が
おでんに並ぶ

おおち地区本部
山形
ゆうきさん

人事異動

◎退職（平成30年12月31日付）

▼岩崎愛理

税務相談会日程

- 広瀬支店 1月18日(金)10時～12時
- 安来東支店 2月1日(金)10時～12時
- 伯太支店 2月1日(金)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 2月18日(月)10時～12時

2月の外務日は

13日(水)・14日(木)

担当職員がお伺いします。

年金相談会日程

● 2月4日(月) 9:00～14:00 (安来東支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。
最寄りの支店または資金課（22-3752）までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ●年金手帳及び年金番号通知書（ご本人・配偶者）
- 年金証書（ご本人・配偶者）●年金請求書 ●認印 ●年金加入記録のお知らせ等



市況動向

島根中央子牛市場
(単位：円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	688,080	730,800	706,752	701,111	696,999
	頭数	9	3	5	17	112
	最高価格	871,560	811,080	868,320	871,560	1,136,160
又キ	平均価格	755,460	-	691,848	720,120	768,605
	頭数	8	0	10	18	160
	最高価格	852,120	-	799,200	852,120	976,320
総平均価格	719,788	730,800	696,816	710,887	738,724	
合計頭数	17	3	15	35	272	

12月子牛市場県外移出頭数

	滋賀県	岐阜県	香川県	佐賀県	広島県	山口県	大阪府	その他	合計	県外移出率
雌	15	9	4	9	8	0	0	16	61	48.41%
去	4	8	9	4	2	10	9	3	49	31.61%
合計	19	17	13	13	10	10	9	19	110	39.14%

肥育センター5等級評価牛（12月出荷分）

	血統	種別	枝重	格付	BMS	備考
安福久	勝忠平	茂重桜	去勢	579.0kg	A5	12 最優秀賞牛
菊花国	平茂勝	安平茂	去勢	527.4kg	A5	8

※12月4日開催の平成30年度第2回島根県枝肉共進会において、ボリューム・肉色・コース芯面積が評価され最優秀賞を受賞しました。

年末需要で枝肉価格が上昇

平成30年12月の全国主要子牛平均価格（全農・畜産生産部12月14日現在速報）は雌766千円（前月比106%）、去勢860千円（前月比102%）と“堅調”の取引となっております。

本県12月の子牛市場は中央市場のみの開設で288頭の上場があり、平均価格は、雌675千円（前回は101%）、去勢830千円（前回は105%）、総平均767千円（前回は104%）で“続伸”の取引となりました。

今月上場牛は発育良好・体積豊かなものも見られましたが、発育・体積が劣るものや肋張りが弱いもの、体のゆるいものも散見され、ややバラツキが見られました。

今月に入ってから、年末需要により全国的に枝肉価格が上昇しており、これに伴い素牛価格も全国的に一段高の状況となっておりますが、牛ごとの価格差は顕著に現れるようになってきており、これまでとは異なった取引様相が見られます。

タテのカギ



- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくことも
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3.14159……と続く円周一
- ⑮ 道端のこと。—— 駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作「—— 一夜叉」
- ⑲ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ⑳ マンションの—— 人さんにあいさつをして出掛けた

ヨコのカギ



- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立！ ——！ 着席！
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた—— 幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7		11		17	20
		A				
2			12	15		
					C	
3		10				
	8				18	
4				16		21
5	9		13		19	
						D
6			14			

答え
A B C D

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒692-0014 安来市飯島町1205-1
JAしまね やすぎ地区本部 総務課 「クイズ」係
平成31年2月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ゴママワシ」

フ	ク	ウ	ラ	イ	ス
ス	ウ	ジ	ケ	シ	キ
マ	マ	ユ	キ	キ	マ
サ	ツ	マ	イ	モ	
コ	ト	ツ	ノ	マ	
コ	ウ	カ	シ	ヤ	イ
		イ	ニ	シ	ヤ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

春の七草

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

お正月はいかがでしたか？おせちにお雑煮、色々食べたか？飲んだり胃腸もお疲れ気味なのではありませんか。今回はそんな胃腸のお助けマン『七草粥』についてお話しします。

『春の七草』を「1月7日朝に七草粥を食べる」と知っていても、由来や効果などまでは知らない人が多いのではないのでしょうか。『七草』とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを指します。これら七草が入ったお粥を食べると無病息災を願う、古くは平安時代から伝わる習慣です。清少納言の『枕草子』には、「七日の日の若菜を、六日、人の持て来……」という一文があります。

正月6日から7日にかけての行事で6日の夜はヒイラギなどの刺のある木の枝や、蟹のはさみの様な尖ったものを戸口に挟んで邪霊を払い、七草叩きといって、叩きをしながら七草を包丁でたたき、粥を炊き込みます。7日の朝、歳神に供えてから家族で食べると万病を払うとされています。

また、七草粥は日常の食生活に戻るといつの間にか、冬にビタミン、ミネラルの豊富な七草で栄養のバランスを整えるという古人の知恵があります。

【七草の効用】
セリ：免疫力を高め風邪やインフルエンザを予防するビタミンA。疲労回復に効くビタミンB群。疲労回復を手助けするビタミンC。加えて鉄分も多く含まれているため、冷え性・貧血の症状を和らげます。
ナズナ（へんぺん草）：セリ同様ビタミンA、B群、C、カリウム、鉄が含まれている他、カルシウムや亜鉛なども含まれています。
ゴギョウ（ハハコグサ）：実は詳しい栄養成分が分かっていないキク科の植物。しかし、咳やのどの痛みを和らげる作用があると言われています。
ハコベラ：タンパク質が比較的多く含まれ、ミネラルをはじめとした栄養に富んでいます。また、利尿作用のあるサポニン、止血作用のあるクマリンが含まれています。
ホトケノザ：高血圧の予防・胃腸の働きを整えるとされていますが、栄養、効能はあまり知られていません。
スズナ（かぶ）：胃腸の消化を助けるアミラーゼ、免疫力を高めるビタミンC、むくみを解消するカリウムが含まれます。
スズシロ（大根）：スズナ同様、胃腸の調子を整えるアミラーゼ、ビタミンCが豊富で、肌を若々しく保つ効果も。また、食物繊維も豊富で便秘の解消に効果があります。

年々、野草が生えているところは少なくなり、ホトケノザやゴギョウを見る機会も少なくなりました。しかし、スズナはカブ、スズシロは大根のことですから、これらはお馴染みの食材ですね。この時期はスーパーでも七草セットが売られています。無理に七草全部でなくても、身近なタイコン、カブなどでも良いです。自然に満ちた、体に優しい食材を毎日の食事に取り入れて、寒い日々を乗り越えましょう。

組合員の皆様へ

備えて安心。いつでも便利。クミアイ家庭薬です。

クミアイ 家庭薬 のしくみ

- 1 まずは薬箱をご自宅に
いつでもご利用可能な薬屋さんの完成です。
- 2 定期的な配置員が訪問します
知識豊富な配置員が丁寧に対応いたします。補充とご精算もこの時に。
- 3 お薬は使った分だけ後払い
お薬の代金はご使用分のみのご精算です。他に代金は発生しません。
- 4 配置する内容は自由に選べます
70種類以上の品揃えの中から、ライフスタイルに合ったものを。

— 担当の配置員が配置箱の設置と薬の補充に伺います。 —

シニア世代の
アクティブ生活を
おいしくサポート!

Kyoyaku 毎日おいしく
グルコサミン

500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**



お好みで
うすめて
飲む



お問い合わせ先



協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655
TEL 0853-73-7430



JALまねは、出産・育児を応援します!

JALまね 出産・育児コミュニティ

JALまね

こども 倶楽部



お申し込みは
こちらからから



入会金
年会費
無料

平成30年度 会員募集中。

対象 島根県在住でご妊娠中の方

会員期間 ご入会日からお子様の1歳の誕生日末日まで

募集期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

★下記、特典01から03については最寄りのJA支店よりご自宅までお届けします。
(郵送での対応は行っておりません。)

特典01

ご加入時に
オリジナル
限定品プレゼント

特典02

ご加入から
ご出産まで
たまごクラブ
お届け

特典03

ご出産時に
記念品
プレゼント

特典04

各種 お役立ち
情報お届け

特典05

お子様が
満1歳になるまで
ワクワクする
イベントご招待

※特典03の内容は、各地区本部により異なります。詳しくは、該当のJALまね地区本部窓口にお問い合わせください。

和風もちピザ



もちもちの食感のおもちをピザ生地代わりにします。佃煮の塩分とチーズの塩分で味付けはしなくてもおいしく食べられます。フライパンでもいいけど魚焼きグリルでもできます。佃煮は生姜、しじみなど好きな佃煮でどうぞ。

●材料 (2人分)

もち	4個	ピザチーズ	適量
玉葱	1/4個	サラダ油	大さじ1/2
佃煮 (生姜、しじみなど好みの物)		もみのり	適量
	大さじ2		

●作り方

- ①フライパンに油を入れ熱くなったら餅を並べ、弱火でフタをして焼く。
- ②ふっくらと膨れて焼けたら裏返し、両面を焼く。
- ③フライ返しで押し、もちを広げる。
- ④玉ねぎスライス、佃煮、ピザチーズを乗せフタをして3～5分蒸し焼きにする。
- ⑤もみのりを乗せる。

かまぼこチヂミ



お正月も終わり、お節の蒲鉾が残っていませんか。海鮮で作るのがおいしい、韓国料理のチヂミ。新鮮な魚から作られたかまぼこのチヂミおいしいですよ。

●材料

かまぼこ (お正月の残り)	適量	卵	1個
にら	1束	水	120cc
人参	1/3本	ごま油	大さじ1
小麦粉	100g	ポン酢	適量
片栗粉	40g		

●作り方

- ①かまぼこは5mmぐらいにスライスする。にらは、3cmの長さに切る。人参は千切りにする。
- ②ボールに卵、水、小麦粉、片栗粉を入れ混ぜ、ダマがなくなったら、かまぼこ、人参、にらを入れ混ぜる。
- ③フライパンを熱くして、ごま油を入れ②の生地を流し入れ焼く。両面を焼いたら、ポン酢をつけていただく (②の中にキムチを入れ焼いてもおいしい)。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町の太鼓谷稲成神社です。日本五大稲荷のひとつに数えられているこの神社では、全国でも珍しく「いなり」を「稲成」と表記します。「成」には、津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、願い事が叶うようにとの意味が込められていると言われていました。多くの参拝者が訪れ、特に正月は毎年数十万人の参拝客で賑わいます。

編集後記

明けましておめでとうございます。編集一同まだまだ正月ボケが抜けきっていませんが、様々な情報をお届けする「JAしまねびより」を本年もよろしく願っています。今月の特集は、お正月らしく「榎」を取材していますので是非ご覧ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

